



「タブレットの活用で、社会で必要となる力を身に付けてほしい」と足立校長(中央)の学校が受賞しています。

頓原中学校が「第38回時事通信社教育奨励賞努力賞」を受賞しました。
同校は文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づき、ICT機器(タブレット端末)を活用した学習システムを構築。普段の学習にタブレット端末を活用しています。タブレットの活用が、生徒の主體的な学びや教員の働き方改革に繋がっていることが評価されました。
この表彰は、創造性に富んだ特色ある教育で、顕著な成果を挙げた学校をたたえるもので、全国31の学校が受賞しています。

頓原中学校が
時事通信社
教育奨励賞受賞



「琴引山の環境整備につながりうれしい」と三島社長

(株)赤名酒造から、日本酒「純米吟醸琴引山」の売上の一部を、琴引山の環境保全などに役立ててほしいと木造ベンチ4台が寄贈されました。
木造ベンチは5月に寄贈され、現在は琴引山の山頂付近の広場に設置しています。11月15日には、同社の三島代表取締役社長に感謝状を贈呈しました。
同社からはこれまでも、同様の取り組みでコロナウイルス感染症対策として、消毒用アルコールを寄贈していただいています。

(株)赤名酒造からの
寄贈に対して感謝状



「お肉は苦手だけど、この豚肉はおいしい」などの声も聞かれました

町内の小中学校を対象に、特産品「飯南ポーク」と「奥出雲和牛」を使用した給食を提供しました。
この取組は、給食の魅力化を図り、子どもたちに安全安心な給食の提供をすることで、「食の大切さ」を感じてもらい、「食育」につなげていくことが目的です。
物価が高騰し、給食の食材費等も大きな影響を受けていますが、今後も、保護者負担を据え置いたまま、本町の食材をできる限り使用した安心安全で魅力的な給食を提供していきます。

特産品を使用した給食を提供

11月17日(金)
21日(火)



同協会は昭和61年に「頓原町青少年育成基金協会」として設立。現在も活動を継続されています

あすなる基金協会(大森理事長)から飯南町学校給食魅力化事業に賛同した目録の贈呈を受け、大谷教育長から感謝状を手渡しました。
この度の同協会からの支援は、クリスマスケーキを町内の小中学校に提供するもの。地元飯南町の美味しいものを食べてもらいたい、子どもたちが笑顔になれる支援をしたいとの思いから実施されました。
12月5日、6日には、町内事業所のクリスマスケーキが、2日に分け町内の小中学校の給食で提供されました。

あすなる基金協会に
感謝状を贈呈

11月29日(水)



環境に優しい米づくり
エコロジー米生産者大会

エコロジー米の生産拡大を目的に「第14回飯南町エコロジー米生産者大会」が来島交流センターで開催され、エコ米栽培グランドマスターの認定と「第16回うまい米コンテスト」の表彰式が行われました。認定者と受賞者は次の皆さんです。(敬称略)
○受賞者
金賞・安原征治(下赤名)
銀賞・森口繁之(上赤名)
銅賞・農事組合法人晴雲(花栗)
○グランドマスター認定者
農事組合法人アグリ・ドリーム小田
※グランドマスター：一般部門で通算3回金賞を受賞した生産者

飯南高校JRC部
飯南病院に応援メッセージ

飯南高校JRC部(青少年赤十字)が、飯南病院の職員と入院患者の皆さんに、応援メッセージを寄贈されました。
応援メッセージは、部員の皆さんが高校の文化祭で生徒や来場者に呼びかけ、書いていただいたもの。その後、集まったメッセージを一つの模造紙にまとめました。
部員の皆さんは「飯南病院の皆さんに、日頃の感謝を伝えるため、部員4人で取り組んできました。入院患者さんへも思いが届けばうれしいです」と話していました。



メッセージは病院内に掲示されます

12.7
木



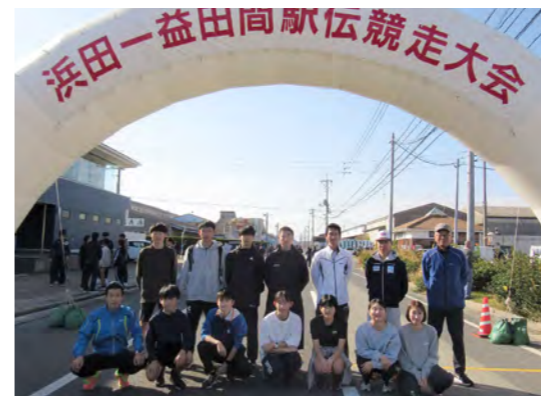
受賞者の皆さんで記念撮影

11.28
火

懸命にタスキをつないで
第32回しおかぜ駅伝

「第32回浜田ー益田間駅伝競走大会(しおかぜ駅伝)」が4年ぶりに開催されました。今大会は「益田陸上競技場」とはまだお魚市場を結ぶ、8区間39・6キロメートルのコース。全33チームが出場しました。
飯南チームは社会人から中学1年生まで幅広い世代の選手が力走。どの選手もこれまでの練習の成果を発揮しました。結果は、全33チーム中22位、2時間27分13秒と健闘しました。ご声援ありがとうございました。

【選手】	選手名	備考
1区	黒角 梨奈	団体職員
2区	和久利 昊生	飯南高2年
3区	加藤 郁海	団体職員
4区	奥野 颯	赤来中1年
5区	田村 瑞希	赤来中2年
6区	山戸 拓郎	飯南高2年
7区	加治 倅太	飯南高1年
8区	下宮 雅行	団体職員
控	安部 凌生	団体職員
控	吉川 真太	飯南高2年
控	吉川 瑛太	赤来中1年
控	和久利 友翔	赤来中2年



レース後に選手とスタッフで記念撮影



ゴールするアンカーの下宮選手

12.10
日